

令和4年度 園芸特産業関係功労者表彰 受賞者功績概要

1 小海町・北相木村・南相木村花卉振興協議会 会長 渡辺邦安（小海町）

昭和44年より53年間、小海町・北相木村及び南相木村の花弁生産振興と生産農家の相互連携を深め花卉振興に努めた。他産業との競合に競り勝つため、技術研修会等を重ね生産者の栽培技術向上、地域風土に合う品種への改良と普及を図る。

毎年「花卉園芸品評会」を開催し、技術の向上と普及、生花市場などの消費者ニーズを取り入れる取り組みを展開した。

小・中・高の生徒を対象に「大切な人に贈るオリジナル・フラワーアレンジメント」教室により若い世代の需要拡大に貢献。新規就農里親制度の里親に2名登録、新規就農希望者の研修に研修支援により近年2名がキク栽培農家として就農するなど産地の模範となって産業の発展に御尽力された。

2 三井 静明（富士見町）

昭和43年に就農。地域の基幹品目である輪ギク栽培に取り組み、就農4年目の「乙事地区切り花品評会」最優秀賞から始まり現在まで「信州フラワーショーサマーセレクション」、「なんしんフラワーフェア」で農林水産大臣賞6回、関東農政局長賞5回など数多くの受賞歴があり“伝統工芸品”と評されるほど高度なキク栽培技術による高品質の栽培品を作出し、「信州諏訪のキク」のブランド確立に貢献した。

新たな品種育成の取り組みにおいては、諏訪地域の輪ギク作付面積の1割を占める重要な振興品種となる5品種の育成によりキク栽培者の生産・経営安定に寄与されるとともに管内外の生産者の模範として担い手への技術伝承にも御尽力された。